

市指定文化財<史跡>

こうしどうあと 孔子堂跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市隈府 高野瀬



高野瀬の旧老人福祉センター内に、「孔子堂址」の石碑がある。県道竜門線開設工事により現在地に移転されたものであるが、この碑に「文明4年(1472)21代重朝が家臣隈部^{ただのぶ}忠直と相談し、菊池の文教奨励のため創建した・・・」とある。

この堂に孔子の画像と十哲の像を祭り、家臣を集めて儒学を講じ、春秋に^{せきてん}釈奠の礼を行ったと伝えられる。文明9年(1477)には京都南禅寺の高僧桂庵禅師を招いて釈奠の礼を行っている。その時禅師は「一家有政九州化 万古斯文四海同、絃誦未終花欲暮 香烟撲袂画屏風(肥の国たるや、文有り武有り、民は礼節を知る。実に邦君の仁化の及ぶ所なり。)」と重朝の徳を称えたという。

江戸時代になって孔子堂は、細川藩による藩学時習館建設の資材に、孔子像・十哲の像は祭壇に活用されたともいう。

重朝の菩提寺である玉祥禅寺には、細川氏より贈られた「真済」と書かれた木額がある。